

# 社会福祉法人 太田福祉記念会 令和4年度事業報告

## 誓いの言葉

- 一、私たちは、利用者の人権を尊び、安らぎと生きがいづくりに努めます。
- 一、私たちは、地域福祉の向上を目指し、保健・医療・福祉の連携をすすめます。
- 一、私たちは、常に専門職として、愛の心と技術の向上に努めます。

理念「誓いの言葉」の実現に向けた基本的な考え方を三本の柱として集約。取り組む方向を全職員に示し、感染対策を徹底しながら事業を実施した。

- ①職員の育成による質の高い介護サービスの提供
- ②地域福祉からのまちづくり参画
- ③計画的財務管理による健全経営の維持

★=新規項目

## [1] 令和4年度重点事業プラン

### ◎経営戦術基本方針

- 「地域貢献事業の企画・実施」
- 「福島県一質の高い介護サービスを提供しよう」
- 「事業所への新型コロナウイルス持ち込みの徹底的排除」

### 1. 特色ある事業所づくりの推進

- ・利用者に選ばれる事業所になるため、事業所ごとに組織的努力の焦点を明確にする特色づくりを継続中。新型コロナウイルス感染症への対応に迫られたため、検討期間を延長した。

### 2. 太田福祉記念会地域貢献事業

- ・地域密着支援事業 除雪ボランティア（11年目）参加職員 14名  
高齢者7世帯の除雪（熱海地区、湖南地区）  
※生活困窮世帯の子どもを対象とした学習支援事業は、感染症予防のため中止。

### 3. きらきら人材育成事業（計1,641千円・延199名）

（1）人材育成プランによる研修（924千円・延152名）

- ① 新採用職員ガイダンス 受講者10名 令和4年4月1日
- ② 新採用職員研修（3カ月間・6回）受講者7名 令和4年5月11日～7月20日
- ③ 中核職員研修（6カ月間・12回）受講者10名（指名研修）

令和4年8月3日～令和5年1月25日

- ④ 虐待防止研修（2回）受講者 延125名（全職員） 令和4年8月3日、24日

※②～④は専門の外部講師を招聘し開催。

## (2) 外部専門研修等派遣（717千円・県内外49講座 延47名）

### ① 感染症対策

- ・看護職員向け新型コロナ対応研修（オンライン）3名 令和4年4月28日
- ・ハイリスク施設向け新型コロナ対策セミナー（オンライン）

2名 令和4年11月1日 ほか2講座

### ② サービスの質向上

- ・介護現場の看取り対応研修（オンライン）2名 令和4年6月8日
- ・介護虐待・身体拘束研修（オンライン）3名 令和4年6月14日
- ・中堅職員スキルアップ研修（郡山市）1名 令和4年7月6日
- ・無資格者向け認知症介護基礎研修（郡山市）4名 令和4年10月21日
- ・高齢者施設虐待防止研修会（オンライン）4名 令和5年1月24日
- ・リーダースキルアップ研修講師派遣（郡山市）1名 令和5年1月31日

ほか25講座

### ③ 職場環境改善、公正採用

- ・週休3日制導入説明会（オンライン）1名 令和4年6月10日
- ・リクルーター養成研修（郡山市）2名 令和4年7月1日、9月2日
- ・介護福祉士実習指導者講習（郡山市）2名 令和4年7月9～10日、23～24日
- ・新人職員向けOJTプリセプター促進研修（郡山市）2名 令和4年9月8～9日
- ・腰痛防止・業務省力化研修（郡山市）4名 令和4年11月7～9日
- ・多用な人材の確保セミナー（オンライン）2名 令和4年11月28日、12月13日
- ・公正採用選考人権啓発推進員研修（郡山市）1名 令和4年12月8日 ほか3講座

### ④ ICT（\*1）化推進視察研修

- ・見守りシステム特別専門展（仙台市）3名 令和4年9月15日
- ・国際福祉機器展（東京都）2名 令和4年10月5日
- ・見守りシステム特別専門展（東京都）3名 令和5年3月24日

（\*1）Information and Communication Technology の略。通信技術を使い情報を伝達し活用する技術のこと。

### ⑤ 地域貢献事業研究

- ・ヤングケアラー支援者研修（オンライン）1名 令和4年11月25日

※オンライン研修は49講座中27講座。他に新型コロナ感染拡大に伴う派遣中止3講座。

## [2] 本部事業

### 1. 法人運営の安定化

#### (1) 感染症対策

新型コロナウイルス感染症の流行状況の変化に合わせ、職員行動指針を随時見直したほか、ワクチン接種の推奨、体調不良時の出勤自粛要請、感染拡大地域への往来自粛要請、BCP（\*2）の適正運用など、事業所内へのウイルス持ち込みの排除に努めた。

（\*2）Business Continuity Plan の略。災害などの緊急時における企業の事業継続計画のこと。

・感染症対応の経過（抜粋）

年 月 日	内 容
令和2年	
1月8日	感染症予防物品の管理、備蓄を強化（サージカルマスク、アルコール消毒液等）。
2月26日	利用者への面会、ボランティアの受け入れなどを当面禁止に。
4月7日	職員の県外移動を事前届出制に。
4月21日	テレビ電話面会サービス開始。（現在も継続実施中）
6月22日	両ホームで看取り介護利用者の面会体制整備、実施。
10月21日	両ホームでBCP発動訓練及びゾーニング訓練実施。以降、定期的に実施。
11月13日	新型コロナウイルス感染症に関する職員の行動指針を策定・周知。
令和3年	
2月8日	南会津郡内高齢者施設へ支援職員2名を応援派遣。
3月5日	職員1名が家族から感染。191名のPCR検査を実施し全員陰性。
5月24日	新型コロナワクチン（1回目、2回目）接種開始。
12月1日	利用者への直接面会（事前予約制、非接触）を再開。
令和4年	
1月11日	感染再拡大に伴い、利用者への直接面会を再び中止。
1月17日	新型コロナワクチン（3回目）接種開始。
6月26日	玉川ホーム利用者1名が感染。76名のPCR検査を実施し全員陰性。
8月8日	新型コロナワクチン（4回目）接種開始。
10月12日	あたまホームで5名のクラスター発生。10月25日収束。
11月1日	グリーンライフ小磯で7名のクラスター発生。2名が施設内療養。BCP発動により太田小磯デイサービス等の職員を応援派遣。11月14日収束。
11月4日	太田デイサービスで7名のクラスター発生。11月22日収束。
11月17日	太田玉川デイサービスで12名のクラスター発生。11月28日収束。
〃	玉川ホーム（南棟）で26名のクラスター発生。18名が施設内療養。12月19日収束。
11月18日	両ホームに陰圧室（各1室）を整備。
11月22日	あたまホームで8名のクラスター発生。3名が施設内療養。12月10日収束。
12月11日	玉川ホーム（中央棟）で109名のクラスターが発生。82名が施設内療養。BCP発動により太田玉川デイサービス職員を応援派遣。翌年1月26日収束。
12月13日	新型コロナワクチン（5回目・オミクロン株対応）接種開始。
令和5年	
2月1日	職員へ感染症対応見舞金を支給。（209名、6,270千円）

・感染防護物品の備蓄一覧表

（令和5年3月31日現在）

品 名	保管数量	品 名	保管数量
サージカルマスク	33,000枚	体温計	6個
フェイスガード	540枚	血圧計	6台
ゴーグル	51個	酸素飽和度測定器	6台
使い捨てビニール手袋	358,100双	吸引器	3台
使い捨てエプロン	35,680枚	ペダル式ゴミ箱	9個
アルコール消毒液	232ℓ	携帯型手指消毒スプレー	68個
ペーパータオル	318,000枚	使い捨て食器	4,000個
ガーゼ	22,000枚	抗原検査キット	150個

## (2) 経費節減

- ① 競争入札実績 4 件 (Wi-Fi 設備・インカム (\*3)、自動車、軽自動車、電動ベッド)  
予算計上額に対する節減額 2,219 千円

(\*3) インターコミュニケーションシステムの略。手を使わず相互通話ができるタイプの無線機のこと。

- ② 全施設電気料 前年度比 使用量+2.0% 料金 12,221 千円増  
※震災前の平成 22 年度比 使用量▲17.4%、震災後の平成 23 年度比 使用量▲10.2%
- ③ 全施設水道料 前年度比 使用量▲5.6% (▲1,924 m<sup>3</sup>) 料金▲359 千円
- ④ 全施設ボイラー燃料 前年度比 使用量+0.9% (2,910 ℓ) 料金 1,773 千円増

## (3) 公的助成制度の積極的活用 (計 59,616 千円)

[福島県] 地域医療介護総合確保基金事業補助金

- i) ICT 導入支援 10,150 千円
- ii) 簡易陰圧装置設置経費支援 3,460 千円
- iii) 介護人材確保対策 779 千円

社会福祉施設等物価高騰対策事業補助金 2,671 千円

新型コロナ流行下のサービス提供体制確保事業補助金 8,281 千円

介護職員処遇改善支援補助金 10,971 千円

[郡山市] ケアハウス事務費補助金 22,397 千円

結核予防事業費補助金 345 千円

介護保険の中山間・特別地域における訪問介護等利用料助成金 38 千円

[独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構] 障害者雇用調整金 324 千円

[東北電力] 電気利用効率化促進対策事業補助金 200 千円

## (4) 中期財務計画に基づく建物設備等の保守更新 (計 49,703 千円)

- ① Wi-Fi 設備及びインカム導入 (玉川ホーム、あたまホーム) 22,330 千円
- ② 陰圧室整備 (玉川ホーム、あたまホーム) 3,461 千円
- ③ 建物老朽化診断 (玉川ホーム、グリーンライフ小磯) 9,515 千円
- ④ 車両更新 (グリーンライフ小磯、太田訪問介護事業所) 3,947 千円
- ⑤ エコキュート更新 (太田デイサービス) 10,450 千円

## ★ (5) 不適切事例への厳正対応

外部から寄せられた苦情について当事者等へ事実確認調査を行った結果、利用者に対して虐待に類似した言動があったことが判明。地域住民からの信頼を取り戻すべく、幹部職員の異動等を行ったほか、全職員に服務規律の遵守を促すため、ハラスメントや虐待などの不適切行為に対し厳正に対処することを就業規則に明文化。

※郡山市公文書を収受

## ★ (6) 生産性向上

- ① ICT 化推進 企画調査班「神の手介護ネットワークプロジェクト」  
インカム導入に係る PR 活動、マニュアル作成、講習実施
- ② 利用料口座振替導入 令和 5 年 3 月  
F-NET 代金回収サービスを利用し、事故防止と集金事務を効率化  
計画 175 名中、在宅サービス利用者 118 名分 2,355 千円 (3 月実績)

## ★ (7) 新型コロナウイルス感染症対応

わが身の危険を顧みることなく、献身的に利用者の命を守るため勤務し続けた全職員へ、敬意と感謝を込め見舞金を支給。総額 6,270 千円。

## (8) 環境美化

- ・熱海町内所在施設周辺のクリーンアップ大作戦（8 年目）参加職員 35 名

## 2. 有能人材の確保・育成

### (1) 募集広報担当職員（介護職員）の育成による人材の発掘、採用

#### ① 募集活動

- ・教育機関個別訪問（1 校） ・「介護就職デイ」福祉関係合同面接会参加（1 回）
- ・福祉の職場 WEB 説明会及び合同就職説明会参加（1 回）
- ・介護労働安定センター実務者研修修了者就職説明会参加（1 回）
- ・リクルーター（採用活動担当者）養成研修派遣（2 名・各 4 回）

#### ② 募集広報

- ・正職員採用試験計画どおり実施（2 回） ・ハローワーク
- ・求人広告掲載 1 件（広告料 179 千円） ・ホームページ掲載
- ・求人 Web サイト掲載 1 件（77 千円） ・職員へ人材紹介の協力要請

#### ③ 正規職員採用（内定）者

看護師 2 名、介護員 2 名、調理員 3 名、介護支援専門員 2 名 計 9 名

#### ④ 離職率

介護職（正職員）の離職者 4 名・3.6%（前年度 5 名・4.5%）※全国 14.6%

## [3] 特別養護老人ホーム

### 1. 利用者に質の高い介護サービスを提供

#### (1) 特別感染症対策事業（共通）

- ・非常事態対策会議 1 回 玉川ホーム他 9 名出席 常務理事が BCP 発動
- ・施設内ゾーニング（\*4）シミュレーション  
玉川ホーム 7 回 延 52 名参加 あたみホーム 9 回 延 93 名参加
- ・太田熱海病院、太田西ノ内病院との感染拡大防止会議 玉川ホーム 4 回
- ・長期入所者の入所時 PCR 検査実施 玉川ホーム 49 名 あたみホーム 28 名
- ・短期利用者の入所時抗原検査実施 玉川ホーム 延 162 名 あたみホーム 延 182 名
- ・テレビ電話による面会 玉川ホーム 延 384 回 あたみホーム 延 228 回
- ・ワクチン接種（4 回目、5 回目）玉川ホーム 職員延 178 名、利用者延 265 名  
あたみホーム 職員延 120 名、利用者延 195 名

（\*4）ゾーニングとは、感染症の病原体によって汚染されている区域と、汚染されていない区域に区分けすること。病原体に汚染された人や物品の動きを制限でき、感染拡大の防止につながる。

(2) 国の科学的介護情報システム（通称 LIFE）の活用（共通）

・科学的介護推進体制加算算定

玉川ホーム 166.9 名/月（前年度 172.4 名/月）加算額合計 1,001 千円

あたまホーム 102.0 名/月（前年度 104.0 名/月）加算額合計 612 千円

・上位の褥瘡マネジメント加算算定

玉川ホーム 150.8 名/月（前年度 154.5 名/月）加算額合計 235 千円

あたまホーム 91.5 名/月（前年度 91.5 名/月）加算額合計 142 千円

(3) 食事の経口摂取維持への支援（共通）

・経口維持加算算定

玉川ホーム 41.9 名/月（前年度 36.1 名/月）加算額合計 2,012 千円

あたまホーム 38.4 名/月（前年度 52.2 名/月）加算額合計 1,844 千円

(4) 看取り介護体制の充実・強化（玉川ホーム）

・看取り介護加算

玉川ホーム 19 名 加算額合計 1,179 千円（前年度 18 件）

あたまホーム 1 名 加算額合計 26 千円（前年度なし）

(5) 個別機能回復訓練の充実（あたまホーム）

・個別機能訓練加算算定 29.1 名/月（前年度 28.0/月）加算額合計 1,018 千円

(6) 身体拘束廃止への取り組み（共通）

・身体拘束廃止人数 玉川ホーム 18 名中 13 名 あたまホーム 7 名中 3 名

(7) 施設内事故再発防止への取り組み（共通）

・郡山市介護保険課への事故報告書提出件数

玉川ホーム 8 件（うち骨折 5 件） あたまホーム 4 件（うち骨折 1 件）

## 2. 健全な財務体制の確保と業務効率化の推進

事業所名	長期入所者数（稼働率） ※下段は 4 年度当初目標	短期入所者数（稼働率） ※下段は 4 年度当初目標	介護	
			介護	介護予防
玉川ホーム	159.3 名/日 (93.7%)	17.1 名/日 (85.5%)	17.0 名/日	0.1 名/日
【定員 長期 170 名 短期 20 名】	163.5 名/日 (96.1%)	17.0 名/日 (85.0%)	16.9 名/日	0.1 名/日
あたまホーム	96.8 名/日 (96.8%)	17.3 名/日 (82.3%)	17.0 名/日	0.3 名/日
【定員 長期 100 名 短期 21 名】	96.5 名/日 (96.5%)	17.0 名/日 (80.9%)	16.5 名/日	0.5 名/日

(1) 稼働率の向上（共通）

・玉川、あたま両ホーム合同入所検討委員会 5 回

(2) 郡山市からの要請に基づく緊急入所に対応（玉川ホーム）

・経済的虐待からの保護 1 名 養護者の死亡 1 名

- (3) 在宅高齢者の緊急時の宿泊ニーズに対応（あたみホーム）
  - ・緊急短期入所受入加算 延 2 名（前年度なし）加算額合計 12 千円
- (4) IT機器を活用した業務の効率化（あたみホーム）
  - ・生活支援システム活用推進会議 12 回
  - ・新たに余暇活動及びクラブ活動の記録を電子化し作業効率を向上。

### 3. 職員の育成

- (1) 新採用職員教育の充実（共通）
  - ・がんばっぺ職場研修の実施  
プリセプター配置 あたみホーム 2 名 12 カ月 対象職員 3 名
- (2) 福島県喀痰吸引等実地研修（共通）
  - ・介護職員による痰の吸引等のための研修事業を実施。  
玉川ホーム 2 名（令和 4 年 9 月 29 日～令和 5 年 2 月 18 日）  
あたみホーム 2 名（令和 4 年 10 月 3 日～令和 5 年 2 月 15 日）
- (3) 内部研修会の充実（共通）
  - ・第 19 回法人全体研究発表会 令和 5 年 2 月 28 日（オンライン開催）

## [4] ケアハウス

### 1. 健全な財務体制の確保と稼働率の向上

事業所名	入居者数（稼働率） ※下段は 4 年度当初目標	1 人部屋	2 人部屋
		グリーンライフ小磯 【定員 30 名】	22.7 名/日 (75.6%) 28.0 名/日 (93.3%)

- (1) 新規入居者の確保及び施設の PR
  - ・新規入居者数 8 名、退居者数 5 名（前年度新規入居者数 4 名、退居者数 5 名）
  - ・近隣市町村地域包括支援センターPR 活動（空床情報提供、パンフレット配布）  
3 カ所実施
  - ・身体的虐待からの保護を理由としたゲストルーム利用 1 名（延 11 日間）
- (2) 介護予防の推進
  - ・運動器訓練等を行う元気クラブ（4 月～10 月）148 回  
延 1,844 名（1 回あたり平均 12.4 名）
  - ・入居者の希望を取り入れた行事やグループ活動の実施  
ショッピング 7 回 延 18 名 地域文化祭展示作品作成 18 名参加

## 2. 入居者の生活環境改善

### (1) 感染防止対策

- ・新型コロナウイルス感染症防止研修会 1回 4名参加
- ・施設内ゾーニングシミュレーション 1回 4名参加
- ・入居時のPCR検査実施 8名
- ・ワクチン接種（4回目、5回目）職員延 24名 入居者延 41名
- ・果物や日用品等の購入機会を提供 移動販売車招聘 45回 延 500名利用

### (2) 入居者懇談会 「希望調査」1回 「アンケート調査」1回

### (3) サービス担当者会議 計画どおり開催 28回（入居者1人あたり1回）

## [5] 在宅の介護・支援サービス

### I. デイサービス

#### 1. 利用者の自立を支援する質の高い介護サービスを提供

##### (1) 特別感染症対策事業（共通）

- ・新型コロナウイルス感染症防止研修会  
太田デイサービス 3回 延 26名 太田玉川デイサービス 2回 延 16名  
太田小磯デイサービス 3回 延 18名
- ・緊急時介護サービス復旧計画に基づくクラスター発生施設への応援派遣  
太田玉川デイサービス 玉川ホームへ 7名（令和4年12月21日～31日）  
太田小磯デイサービス グリーンライフ小磯へ 4名（令和4年11月7日～14日）

##### ★(2) 手をかけすぎない介護（太田デイサービス）

- ・ロコモティブシンドローム（\*5）予防の太極拳体操 310日実施 延 6,086名参加
- ・職員による体を動かしながら楽しめるレクリエーションの開発  
コロコロカーリングゲームなど 199日実施 延 3,995名参加  
（\*5）運動器の障害のために移動機能の低下をきたした状態。

##### (3) 自立支援を意識した取り組み（太田デイサービス）

- ・朝食提供による生活支援 実利用者 11名 延 753食
- ・レスパイトケア（\*6）を目的とした利用回数増 週1回増4名 週2回増3名  
（\*6）介護を行っている介護者に、一時的な休息や息抜きを行う支援のこと。

##### (4) 自立支援と認知症進行防止（太田玉川デイサービス）

脳の活性化を目的とした活動	生活機能維持向上を目指した機能回復訓練
貼り絵の制作 52回	上下肢及び口腔体操（集団） 259回
季節の飾り作り 21回	レクリエーション活動 248回
クイズ、塗り絵、計算ドリル等 167回	要支援者の機能回復訓練 延 816名

- ・取り組みをとおして ADL の状態の維持、向上が見られた利用者  
53名中 38名（維持 37名・向上 1名）



(5) 自立支援と認知症進行防止（太田小磯デイサービス）

- ・握力強化やボールを使った下肢運動等の個別機能回復訓練  
259回 実利用者 40名
- ・季節に合わせた工作レクリエーションで巧緻性の向上と認知機能の低下を防止  
60回 実利用者 46名
- ・塗り絵や計算問題、漢字ドリルを使用し認知機能の低下を防止  
80回 実利用者 30名

## 2. 健全な財務体制の確保

事業所名	営業日数	利用者数	※下段は4年度当初目標			実利用者数	
			介護	総合事業	認知症		うち新規
太田デイサービスセンター 【定員30名】	310日	19.6名/日	15.1名/日	4.5名/日	-	81名	17名
		23.5名/日	19.2名/日	4.3名/日			
太田玉川デイサービスセンター 【定員37名】	259日	19.6名/日	14.3名/日	3.1名/日	2.2名/日	86名	25名
		25.5名/日	18.6名/日	4.9名/日	2.0名/日		
太田小磯デイサービスセンター 【定員18名】	259日	13.3名/日	11.0名/日	2.2名/日	-	59名	26名
		16.3名/日	13.4名/日	2.9名/日			

- ★・上位の入浴介助加算を算定（太田デイサービス）  
太田デイサービス 1.0名/月 加算額合計 41千円

## II. ホームヘルプサービス

### 健全な財務体制の確保

事業所名	利用者数	※下段は4年度当初目標				実利用者数	
		熱海		小磯分室			うち新規
		介護	総合事業	介護	総合事業		
太田訪問介護事業所	12.4名/日	6.8名/日	4.4名/日	0.7名/日	0.5名/日	50名	13名
	14.0名/日	9.6名/日	4.4名/日	0名/日	0名/日		

## III. 居宅介護支援サービス

### 質の高いケアプラン作成と収支バランスのとれた財務体制の維持

#### (1) 質の高いケアプランの作成

- ・退院調整によるサービス計画作成 50件（前年度 38件）

## (2) 健全な財務体制の確保

事業所名	利用者数
太田指定居宅介護支援事業所	121.4名/月（当初目標 160名/月）

- ・退院退所加算 49 件（前年度 38 件）加算額合計 231 千円
- ・入院時情報連携加算 50 件（前年度 70 件）加算額合計 97 千円
- ・ターミナルケアマネジメント加算 2 件（前年度 2 件）加算額合計 8 千円
- ・通院時情報連携加算 4 件（前年度 12 件）加算額合計 2 千円
- ・市町村等から依頼された介護認定調査 5 件（前年度 3 件）委託料合計 18 千円

## IV. 地域包括支援サービス及び介護予防支援サービス

### 1. 地域に根ざした包括的なサービスを提供

#### (1) 地域包括ケアシステムへの対応

- ・湖南町の地域ケア会議 3 回（個別ケア会議 2 回、圏域会議 1 回）

#### (2) 地域高齢者の介護予防推進

- ・湖南地区社会福祉協議会が主催する地域介護予防教室いきいきデイクラブに参加し、フレイルチェック（\*7）を実施。実績 10 回 参加者 71 名

（\*7）「フレイル」とは、病気ではないが、年齢とともに筋力や心身の活力が低下し、健康と要介護の間の状態のこと。15 の簡単な質問で現在の健康状態を評価することができ、介護予防・日常生活支援総合事業利用の目安にもなる。

#### (3) 小磯カフェ「まざっせ」の開催 実績 6 回 参加者 23 名（目標 10 回）

- ・認知症のある方やご家族を対象とし、定員 10 名の完全予約制として再開。郡山市感染症対策ガイドラインに則り少人数、短時間で実施した。

開催年月日	参加者	実施内容
令和 4 年 10 月 15 日	2 名	可動域拡張体操
令和 4 年 11 月 19 日	3 名	可動域拡張体操
令和 4 年 12 月 17 日	4 名	可動域拡張体操、クリスマスツリー制作
令和 5 年 1 月 21 日	3 名	可動域拡張体操、昔あそび（あやとり、けん玉）
令和 5 年 2 月 18 日	6 名	可動域拡張体操、言葉あそび
令和 5 年 3 月 18 日	5 名	可動域拡張体操、湖南町の方言について

### 2. 健全な財務体制の確保

事業所名	利用者数
湖南地区地域包括支援センター （湖南地区介護予防支援事業所）	72.5名/月（当初目標 90名/月）